

# みんなのた場



## 石巻地区・新館

今野涼風さん(13歳・青葉中1年)

涼愛ちゃん(8歳・金小2年)

涼音くん(7歳・金小1年)

涼琉くん(3歳)

琉煌ちゃん(2歳)

元気いっぱい5人姉弟は仲が良く、家の中にはいつもにぎやかな声が響きます。長女の涼風さんは面倒見がよく、まとめ役としてご両親をサポートしています。将来の目標は助産師です。妹や弟たちの誕生に何度も立ち会い、命の大切さを学んで関心を抱きました。お菓子が好きな涼愛ちゃんはパティシエになって、仲の良い友達と一緒にお店を開く夢を描いています。

明るいスポーツ少年の涼音くんは野球選手になりたいと考えていますが、最近は温かく見守っています。



▶いつも一緒に仲よし姉弟です。

## 明るく元気な5人姉弟



### 文化財の保存と活用 石巻市指定有形文化財

「旧観慶丸商店」平成27年10月28日指定

生涯学習課



▲修理完成した「旧観慶丸商店」

「旧観慶丸商店」は、創業者が廻船問屋の沖船頭をしていた船「観慶丸」を店名の由来とし、昭和5年、石巻初の百貨店として開業、近年まで陶器店を営んでいました。木造3階建て(居住部は2階建て)で、交差点に面した隅角部分を曲面とした造り、全面タイル貼りの外壁、丸窓や半円・楕型のアーチ窓、色鮮やかなスパイン瓦等を施した外観は洋風建築の趣を漂わせ、居住部の屋根にはスレート瓦を葺く、といった近代和風建築の様相も呈しています。こういった特徴的建築は、近代石巻の象徴的建物としてその価値が高く、平成25年に市に寄贈され、平成27年には市有形文化財に指定

されました。文化財の保存と活用は文化財保護の重要な柱と位置付けられ、保存とともに、価値を損なわないように配慮しつつ、広くその魅力を伝えるために活用されることがあります。「旧観慶丸商店」は保存修理工事を行い、街の活性化を図ることを目的に、1階は文化交流スペース、2階は平成32年度末に開館予定の(仮称)石巻市複合文化施設のサテライト展示スペースとして活用する予定です。4月2日からは、「浅井元義」「スケッチ石巻 古い家並み」原画」を開催します。開発や震災で失

▶「駅」浅井元義1984年



われた街並みの、貴重な記録資料ともいえます。「旧観慶丸商店」は、文化財の保存と積極的活用の好事例となることでしょう。



▶百寿にちなんだ。ピンク色のちゃんちゃんこで100歳の祝詞を受け取りました。

## 長年の浜暮らしで健やかに



### 永沼まつさんの 100歳

(美園)

永沼まつさんは大正6年2月28日に雄勝町桑浜に5男3女の次女として生まれました。子どものころから快活で、海や畑での仕事に励み、持ち前の芯の強さで男性陣と同様の働きぶりだったそうです。

昭和12年にご近所の甚七さん(故人)と結婚し、4男5女に恵まれました。10年ほど前まで畑仕事を続け、野菜のほかにも味噌をつくっていました。震災後は美園地区に移り住み、息子夫婦と孫と共に4人で暮らしています。現在も身の回りのことは全て自分でこなすことがで

き、週2回通っているリハビリデイサービス施設では最年長として利用者の皆さんから慕われています。

100歳のお祝いがデイサービス施設であり、永沼さんは「兄弟同然の皆さんにこのようにお祝いいただいていた方がいいです」と感謝しました。

長寿の秘訣については「若いころから海山で一生懸命働いてきましたから、それが良かったのかもしれない」と笑顔で語っていました。浜暮らしでたくさん海藻を食べてきたことや、気持ちを常に強く持っていたこと等が現在につながっているそうです。





# まちの話題

## 雄勝地区



2月11日(土・祝)～3月13日(月)  
復興まちづくり情報交流館 雄勝館

### 1000枚の雄勝石で「光」の壁画

雄勝石1000枚を使って漢字で「光」と表した壁画の展示会が行われました。「1000」は雄勝地区に現在住んでいるおよその人数です。地域の皆さんや観光客が絵やメッセージを書き込んださまざまな大きさの雄勝石をパズルのように組み合わせ、復興への希望を感じられるように表現しました。約1.5m四方の大きな文字に、来館者は「希望を感じられます」と話していました。

## 河北地区



3月1日(水)  
河北幼稚園

### 火事ゼロのまちへ響く音色

春の火災予防運動(3月1日～7日)の一環で、飯野川商店街で防火パレードが行われました。震災後、初めてパレードに参加した石巻広域消防本部音楽隊の演奏に合わせ、河北幼稚園と飯野川保育所の子どもたちが火災ゼロを呼び掛けました。その後、河北幼稚園のホールを会場に音楽隊のミニコンサートが開かれ、人気タレントや人気アニメの曲が軽やかに響き渡りました。

## 桃生地区



2月26日(日)  
桃生総合支所

### 地域に広める「火の用心」

火災予防運動を前に、市消防団桃生地区団等がポンプ車等で防火パレードを行いました。パレードは地域の防火意識向上を目的に、毎年春と秋の2回実施しています。出発式には消防団員や婦人防火クラブ員、消防職員等約30人が出席し、地域から火災をなくすため啓発活動に力を入れていくことを確認しました。その後、消防車両に乗り込み、2班で地区内を巡回しました。

## 河南地区



3月3日(金)  
須江小学校

### 須江獅子舞の伝承式で勇壮な舞

子どもたちも一緒になって地域で守り伝えている「須江獅子舞」の伝承式が行われました。6年生48人が1年間で磨いた芸の集大成として「道中囃子」「権現」「虎舞」の3演目を披露して、5年生35人へ獅子や法被等を引き継ぎました。全校生徒や保護者、保存会の会員が見守る中、5年生も力強い演技で伝統を継承する決意をしっかりと示しました。

## 牡鹿地区



3月5日(日)  
県道2号沿い

### 美しい牡鹿半島を守ろう 約100人が清掃活動

美しい景観を守ろうと、住民やボランティアの皆さんでつくる牡鹿半島ネットワーク協議会(杉浦達也代表)が「第9回牡鹿半島県道そうじ」を行いました。少人数でスタートした活動は回を追うごとに輪が広がり、今回は約100人が参加しました。道路脇には家電や廃材、ドラム缶等も捨てられており、参加した人は「ゴミを捨てない意識が根付いてほしいです」と話していました。

## 北上地区



3月7日(火)  
北上総合支所会議室

### 地域づくりに活発な意見

北上地域の発展と活性化を図るために、地元で活動する団体代表や学識経験者、公募による住民で構成するまちづくり委員会が平成28年度第3回会議を開きました。出席した皆さんは、市が取り組む各種計画について活発に意見を交わしました。このうち白浜ビーチパークについて「いつでも誰でも海に親しめるバリアフリービーチにしようか」等の提案も出されました。

## 石巻地区



3月5日(日)  
市総合運動公園

### 東京五輪へ高まる期待 フラッグツアー

五輪旗等のレプリカが東京都内や東北各地を巡る「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」が3月5日(日)～10日(金)に市内で行われました。初日のイベントにはスポーツ少年団の子どもたちが約350人出席し、このうち各団代表の20人が五輪選手らと一緒にゴマ油で聖火台を磨きました。その後、両大会旗が掲げられる中で火がともされ、周囲は歓声に包まれました。

## 石巻地区



2月10日(金)  
宮城県水産高校栽培漁業実習室

### 万石浦小児童がのりすき体験

地元の特産品であるノリについて学んでいる万石浦小学校5年生が、宮城水産高校で体験学習を行いました。高校の先生から海藻類の説明を受けたほか、実際にのりすき作業にも挑戦しました。ムラができる等苦労しながらも、皆楽しそうでした。いつもは何気なく食べているノリが、とても栄養のあるものと学んだ児童からは「毎日、もっとノリを食べます」との感想も聞かれました。